

# RS-232C to RS-422 コンバータ DT-LC-422 マニュアル

2024/11/7 データ・テクノ

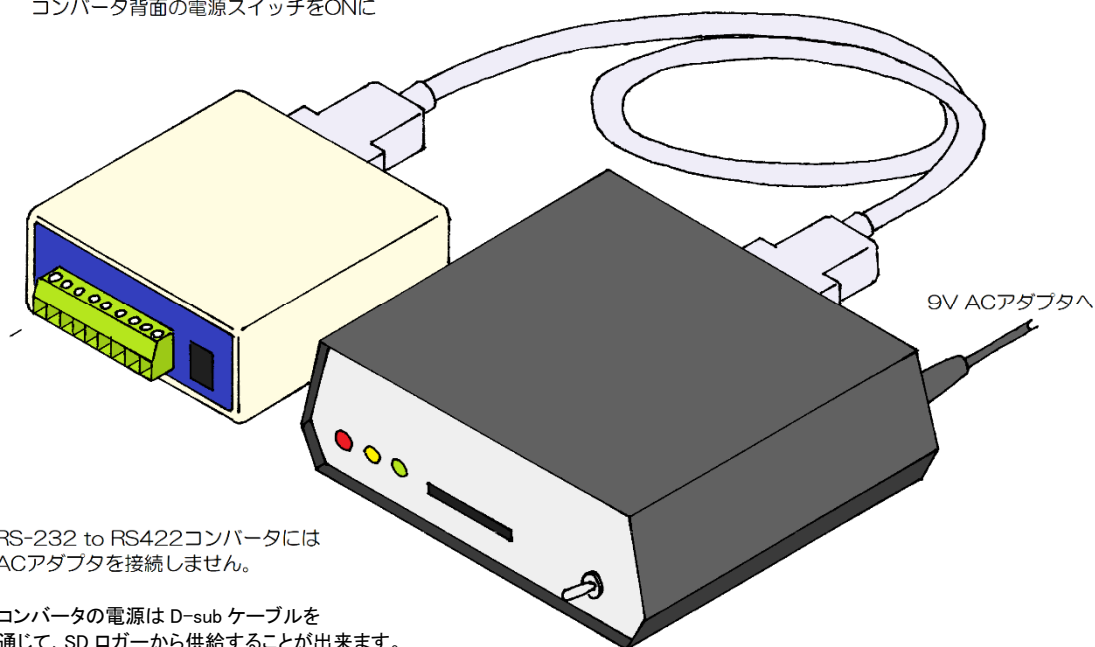
2023/03/10 データ・テクノ



## 1. SD ロガーとの接続

D-sub 9pin オスメスストレートケーブルでSDロガー4と接続

コンバータ背面の電源スイッチをONに



RS-232 to RS422コンバータにはACアダプタを接続しません。

コンバータの電源はD-subケーブルを通じて、SDロガーから供給することができます。

※SDロガーから電源供給を受ける場合は、ロガーの、D S u b 9ピンコネクターの9番ピンに電源を供給するように設定してください。

※図はSDロガー4ですが、SDロガー5でも同様にご使用いただけます。

## 2.RS-422 信号の接続

RS+	出力	ハンドシェーク。RS-232C CTS から
RS-	出力	ハンドシェーク。RS-232C CTS から
CS+	入力	ハンドシェーク。RS-232C RTS へ
CS-	入力	ハンドシェーク。RS-232C RTS へ
GND		信号グラウンド
RD+	入力	通信受信データ
RD-	入力	通信受信データ
SD+	出力	通信送信データ
SD-	出力	通信送信データ

+ は非反転、-は反転信号です。

## 3.RS-232C 信号の接続

1	NC		
2	TxD	出力	通信送信データ
3	RxD	入力	通信受信データ
4	DSR	入力	内部で 6 番と接続
5	GND		
6	DTR	出力	内部で 4 番と接続
7	CTS	入力	ハンドシェーク。RS-422 RS へ
8	RTS	出力	ハンドシェーク。RS-422 CS から
9		電源	電源受電 (DC8~12V)

## 4. コンバータ正面の DIP スイッチの設定



DIP スイッチは入力信号のターミネータの有効/無効を切り換えます。  
通常は、接続対象機器と、1 対 1 で通信をする場合は、ターミネータを有効にしてください。  
ターミネータの抵抗値は 120Ω です。